

平成 28 年(2016 年)8 月 5 日

八日市南高等学校の取組

滋賀県立八日市南高等学校
校長 三上 保彦

1 八日市南高等学校の概要

(1) 本校の沿革

明治 40 年 4 月	郡立神崎実業学校開校
大正 11 年 4 月	県立神崎商業学校 (4 年制)
昭和 19 年 4 月	県立神崎農学校に変更 (農業・農業土木科設置)
昭和 23 年 4 月	県立神崎農学校と県立八日市中学校を合併し、神崎高等学校と改称
昭和 23 年 9 月	定時制農業課程設置
昭和 24 年 4 月	県立神崎高等学校と県立愛知高等学校を統合
昭和 26 年 4 月	県立神愛高等学校を分離し、県立八日市高等学校と改称
昭和 34 年 4 月	畜産科設置
昭和 43 年 3 月	定時制農業課程募集停止
昭和 49 年 4 月	県立八日市高等学校農業課程分離独立し、県立八日市南高等学校発足
昭和 57 年 10 月	本館棟竣工
平成 3 年 4 月	農業科・畜産科・農業土木科の募集を停止 農業技術科・食品流通科・緑地デザイン科の募集を開始
平成 5 年 4 月	生活科の募集を停止
平成 6 年 11 月	県立神崎農学校創立 50 周年・県立八日市南高等学校創立 20 周年記念式典
平成 16 年 11 月	県立神崎農学校創立 60 周年・県立八日市南高等学校創立 30 周年記念式典
平成 26 年 4 月	農業技術科・食品流通科・緑地デザイン科の募集を停止 農業科・食品科・花緑デザイン科の募集を開始
平成 26 年 11 月	県立神崎農学校創立 70 周年・県立八日市南高等学校創立 40 周年記念式典
平成 28 年 3 月	耐震補強工事完了

(2) 設置学科について

課程	学科	学年	定員		
全日制	農業 学科		農業科	食品科	花緑デザイン科
		1 年	4 0	4 0	4 0
		2 年	4 0	4 0	4 0
		3 年	4 0	4 0	4 0
合計			3 6 0 名		

(3) 教職員数

校長 1、教頭 1、教諭 25、養護教諭 1、実習教諭 3、実習助手 5
 技師 2、業務員 2、事務長心得 1、副主幹 1、主任主事 1、臨時的任用 1
 司書嘱託員 1、臨時講師 5、非常勤講師 3、農場管理嘱託員 2
 農場業務嘱託員 2、日々雇用職員 2

合計 59

(4) 生徒の在籍状況

学科	農業科			食品科			花緑デザイン科			合計		
学年	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1 年	17	23	40	6	34	40	22	18	40	45	75	120
2 年	21	19	40	4	36	40	18	21	39	43	76	119
3 年	25	13	38	12	25	37	26	9	35	63	47	110
合計	63	55	118	22	95	117	66	48	114	151	198	349

2 教育目標等

(1) 教育目標

職業教育を通して社会で活躍できる良識ある人材の育成

(2) 目指す学校像

生徒・保護者から信頼され、地域社会に貢献できる農業高校

(3) 教育方針

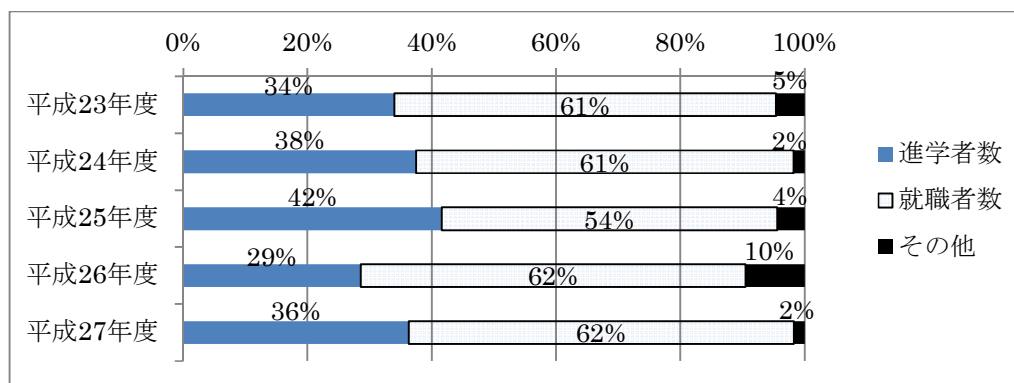
- ① 基礎学力の定着
- ② 充実した農業教育の実践
- ③ 職業観・勤労観の育成
- ④ 教育活動を通しての地域貢献

生徒の指導においては「自尊感情の醸成」を常に心がけている。

3 進路の状況

(1) 過去5年間の進学者数と就職者数の比較

年度	卒業者	進学者数			就職者数	その他
		大学	短期大学	専修各種学校等		
平成23年度	109	2	8	27	67	5
平成24年度	112	7	9	26	68	2
平成25年度	113	13	9	25	61	5
平成26年度	105	7	5	18	65	10
平成27年度	113	8	5	28	70	2



(2) 平成 27 年度の進路決定状況

		農業技術科	食品流通科	緑地デザイン科	合計
卒業生数		39	38	36	113
進 学	大 学	1	6	1	8
	短期大学	1	4	0	5
	専 門 学 校	6	12	4	22
	農 業 大 学 校	5	1	0	6
	未 定 者	0	0	1	1
	小 計	13	23	6	42
就 職	内 定 者	25	15	30	70
	未 定 者	1	0	0	1
	小 計	26	15	30	71

(3) 平成 27 年度の進学先 □：関連大学・専門学校

東京農業大学、龍谷大学、南九州大学、びわこ学院大学、京都文教大学、追手門学院大学
 びわこ学院大学短期大学部、滋賀県立農業大学校、滋賀県調理短期大学校
 京都製菓技術専門学校、京都調理師専門学校、辻学園栄養専門学校、テクノカレッジ草津
 京都芸術デザイン専門学校、YIC 京都ペット総合専門学校、大阪 ECO 動物海洋専門学校
 キャリエールホテル旅行専門学校、京都美容専門学校、京都理容美容専修学校、
 京都 IT 会計法律専門学校、ディースファッション専門学校
 関西ビューティプロ専門学校、キャットミュージックカレッジ専門学校
 ベルエベルビューティコミュニケーション専門学校、トヨタ名古屋自動車大学校

(4) 平成 27 年度の卒業生が就職した企業の数

「東近江市」 関連産業（5）、その他（18）
 「近江八幡市」 関連産業（2）、その他（3）
 「日 野」 関連産業（1）、その他（1）
 「竜王町」 関連産業（2）、その他（0）
 「甲賀市」 関連産業（1）、その他（2）
 「湖南市」 関連産業（0）、その他（3）
 「愛荘町」 関連産業（1）、その他（2）
 「野洲市」 関連産業（1）、その他（0）
 「甲良町」 関連産業（1）、その他（0）
 「長浜市」 関連産業（0）、その他（1）
 「彦根市」 関連産業（1）、その他（0）
 「大 阪」 関連産業（1）、その他（0）

(5) 離職率について

本校の卒業生の、就職 3 年後の離職率は、約 20%である。これは、県平均（約 35%）に比べて低い数値である。その要因は、次の 2 つが考えられる。

- 本校のキャリア教育により、職業観をしっかりと身につけて進路決定している。
- 農業科の実習を経験し、忍耐力が身についている。

4 キャリア教育の取組について

(1) キャリア形成支援事業（H26～H28）

① 目的

これまで、高等学校においては、職業教育を主とする専門学科等では、主体的に職業選択ができる能力や職業意識を育てるためのインターンシップの在り方の研究、普通科では、就業体験や外部講師を活用して、生徒の望ましい勤労観・職業観等の価値観を身につけさせ、時代の変化に力強くかつ柔軟に対応していけるような幅広い能力を育てるキャリア教育を進めてきた。

今後は、特に普通科のある高等学校においても、これらの取組みの成果を共有し、充実することにより、キャリア教育の全体計画を見直し、生徒のキャリア形成を支援する効果的なカリキュラムの確立を図り、生徒の社会的・職業的自立を目指すキャリア教育を推進する。

② 本事業で、キャリア教育として生徒に身に付けさせたい力（※今年度は最終3年目）

○1年目：「自己を見つめ可能性を探す力」

これまでの自分の在り方について整理し、様々な人たちの生き方に触れることを通して自己理解を深めていく。また 挨拶、言葉遣い、返事の仕方など、円滑に社会生活を営むための基礎的な行動の仕方を身に付けさせる。

○2年目：「自己の将来を設計する力」

自分の興味・関心・適性などを見だし、アイデンティティの確立を図る。また職場実習・見学等を通して自分の周囲で実際に働いている人たちの姿や働くことへの思いに触れ、働くとはどういうことか体験的に考えていく。

○3年目：「自己の能力・可能性を拓く力」

1・2学年で学習したことを踏まえ自分は他の人たちや社会とどのようなかかわりを持ちながら、どのような価値観を大切にしながら生きていこうとするのか、そして自分はどのような進路を選択するのか、自分の考えを整理していく。

(2) 専門高校プロフェッショナル人材育成事業（H27～H28）

① 研究の目的

専門高校プロフェッショナル人材育成の充実（第一線で活躍する職業人を育成）するため、大学や産業界等と連携した研究活動を通じて、各学科が目標とする次世代の担い手として、専門分野で学んだ知識を活用できる生徒の育成を目指す。

※具体的な取り組み

- 高度な技術・技能の習得
- 資格取得者数の倍増。
- 専門分野を活かした進学者を増やす。

② 研究の概要

- 大学や研究機関・地域産業の知や技術を活用した研究開発の推進。
- 本校3学科の専門性に結びついた県農業行政関係機関と関連産業との連携を密に取り、本校生徒の職業能力や職業意識を高めるための連携のあり方について研究を行う。
- 特色あるカリキュラムの研究
- 高度な資格取得
- 企業における現場実習の実施など、職業教育の視点から教育課程編成についての研究を行う。
- 生徒の学習成果を発表する場の確保（地域連携・学習発表会・出前授業）

- ・「専門高校プロフェッショナル人材育成」・「県立高校キャリア形成支援」に併せて農業クラブ活動（専攻班別に行うプロジェクト学習）の内容についても検討し、授業計画等を精選する。

(3) 平成28年度の実施予定

<キャリア形成支援事業>

日時	取組概要	対象学科・学年（生徒数）
平成28年 3月16日	キャリア形成支援企業実習保護者説明会	各学科2年生（9名）
4月20日～ 22日	キャリア形成支援企業実習 （製造業）3日間	参加生徒3年生（9名）
4月20日～ 24日	キャリア形成支援企業実習 （関連産業3A）5日間	参加生徒3年生（3名） 派遣先：アグリ蒲生
4月19日～ 28日	校内宿泊実習（搾乳実習） 1泊2日を6班編制で実施	農業科1年生（40名）
5月20日	第1回キャリア形成推進委員会	本校教員15名
5月25日	第1回キャリア形成支援委員会	外部委員4名・校内委員8名
6月17日	キャリア形成支援保護者説明会	企業・生徒（名）・保護者・教員
6月28日	キャリア教育職員研修会	教職員（47名）
7月下旬	卒業生による就労講話(進路指導)	3年生就職希望者（約80名）
7月4日～ 7月10日	キャリア形成支援企業実習 （関連産業）5～7日間	参加生徒（約10名） （各科の特色により実施）
9月12日 ～16日 9月8日・9日	校外委託実習保護者説明会 社会人による模擬面接	各学科2年生（119名） 3年生就職希望者 （約80名）
9月16日 ～21日	社会人講話（職業観・勤労観）	各学科2年生（119名）
9月26日～ 9月30日	校外委託実習（5日間）	各学科2年生（119名）
10月下旬	校外委託実習事後発表会（各科）	各学科2年生（119名）
11月28日	第2回キャリア形成推進委員会	本校教員15名
12月8日	第2回キャリア形成委員会	外部委員4名・校内委員8名
平成29年 1月24日	第3回キャリア形成推進委員会	本校教員15名
2月10日 2月10日	成果発表会（八日市文芸会館） 第3回キャリア形成委員会	参加生徒3年（約10名）・ 発表者・受入先企業・本校教員・1、2年生（240名）・ 保護者・学校関係(同窓会・学校後援会他)・県内高校 外部委員4名・校内委員7名
3月上旬	キャリア形成支援 企業等説明会	本校教員15名 各学科2年生（119名）

通 年	プロジェクト活動・販売実習 地域貢献活動・各種資格取得	
その他	キャリア教育 職員研修会 演題：「ポートフォリオ」の作成から 進路実現に向けた取り組み 専門教員プロジェクト実践報告会	西日本短期大学 大隣准教授 専門教諭他 13名

<プロフェッショナル人材育成事業>

日時	取組概要	対象学科・学年（生徒数）
7月 5日	東近江農産普及課・先進経営体等研修 「農大概要説明及び先進経営体等見学」 講師：東近江青年農業者クラブ員他	全学科1年生～3年生 （就農希望者20名程度）
7月15日	全国農薬安全指導者協議会主催 「食の安心・安全シンポジウム in 滋賀」	全学科1年生～3年生 （参加希望者20名程度）
7月中旬	若年技能者人材育成支援等事業 造園工事 2級技能検定・実技指導 講師：滋賀県職業能力開発協会	花緑デザイン科3年生（3名） 花緑デザイン科2年生（14名） 造園技術班
7月21日 ～22日	日本学校農業クラブ連盟全国大会 大阪大会プレ大会 測量競技会	全学科1年生～3年生 学校代表（4名）
7月27日	滋賀県学校農業クラブ連盟年次大会 意見発表会・プロジェクト発表会	全学科1年生～3年生 学校代表（20名）
8月24日 ～25日	近畿学校農業クラブ連盟兵庫大会 意見発表会・プロジェクト発表会	全学科1年生～3年生 県代表（20名）
8月中旬	若年技能者人材育成支援等事業 菓子製造 実技指導 講師：滋賀県職業能力開発協会	食品科3年生（10名） 食品科2年生（10名） 食品流通班
8月中旬	若年技能者人材育成支援等事業 室内園芸装飾3級 実技指導 講師：滋賀県職業能力開発協会	花緑デザイン科3年生（7名） 希望者
8月中旬	県農政課・農業大学校連携講座 「五感で感じる農業体験」 講師：滋賀県指導農業士会他	全学科1年生～2年生 （就農希望者10名程度）
10月中旬	滋賀県立大学 環境科学部 生物資源管理学科 助教 増田 清敬	農業科 2年生（40名） 6次産業化・環境こだわり農産物
10月25日～27日	日本学校農業クラブ連盟全国大会大阪大会 意見・プロジェクト発表他 クラブ員代表者会議 運営	意見・プロジェクト発表 近畿代 表 測量競技会 県代表 農業鑑定競技会 学校代表
12月8日	東近江農産普及課先進経営体等研修 「就農体験談及び意見交換会」 講師：東近江・湖東青年農業者クラブ員	農業科2年（40名）
平成29年 1月下旬	東近江農産普及課 就農青少年との交流 「青年農業者プロジェクト発表会」 主催：東近江青年農業者クラブ員	県年次大会プロジェクト発表 生産・文化生活に関する内容にて 最優秀または優秀の研究班
平成28年 2月10日	八南成果発表会 講演およびパネルディスカッション	全学科1・2年生（236名）

9月上旬	第1回推進委員会	校内委員 12名
10月上旬	第1回コーディネート委員会	校外・校内委員 11名
1月上旬	第2回推進委員会	校内委員 12名
2月10日	第2回コーディネート委員会	校外・校内委員 11名

(4) キャリア教育の全体計画

(別紙資料1)、(別紙資料2)

5 特徴ある取組について

(1) 八南プロジェクトX

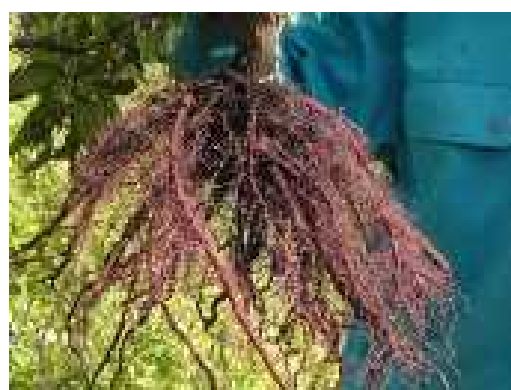
① 八南レストランプロジェクト

「地産地消」をテーマに、毎年12月に高校生レストランを開催。計画や料理開発は食品科、材料提供は農業科、店内装飾は花緑デザイン科が担当している。



② ムラサキプロジェクト

東近江市の花である紫草の栽培・紫根染めを普及する活動に取り組む。「万葉集」にも詠まれた、地域の財産である紫草を、本校と地域の皆さんが一体となって守り育てて行くことを目標にしている。





③ 政所茶プロジェクト



④ 暮らしのデザインプロジェクト

地域との連携活動や社会貢献活動を通じて、花緑デザイン科で学んだ知識や技術を地域に還元し、地域の環境問題の解決と、心豊かな暮らしの実現に向けて提案する。



(2) 東北ボランティアについて

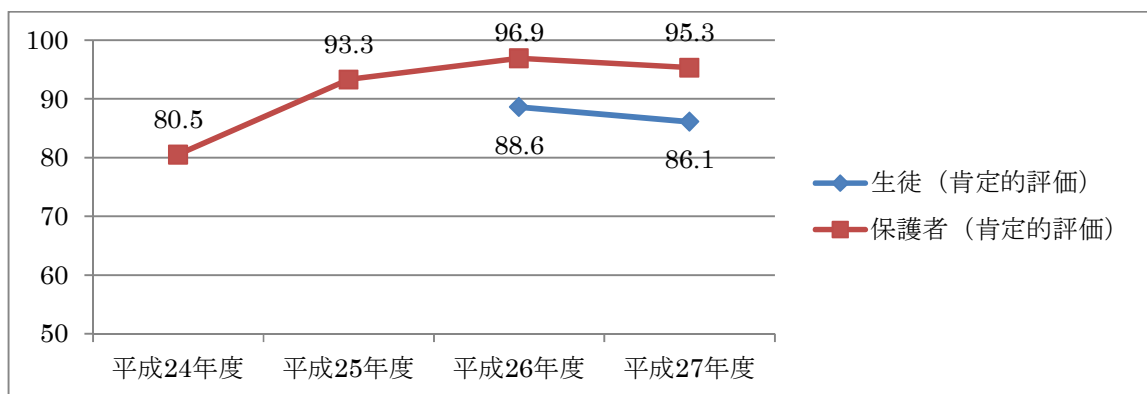
未曾有の大震災を実施に見て、ボランティア活動に参加することにより、命の大切さ、助けあうことの大切さを学ぶ。今年で5年目となる。防災教育、環境教育、キャリア教育の面の効果もあり、今後も長く続けていきたい。



6 本校の評価について

(1) 学校評価の結果（生徒と保護者）

問 本校に入学して良かったと思いますか。（％）



(2) 企業からの評価

進路指導課を中心に企業訪問をしたとき、「八日市南高校出身の生徒は、よく頑張ってくれる。」という内容のことをほとんどの企業の担当者がおっしゃる。また、離職率が県の平均（約35％）と比較して低い。（本校では、就職後3ヶ月以内ではほとんど離職していない。就職後3年では離職率は約20％である。）計画的かつ綿密なキャリア教育や進路指導の賜であると考えられる。

(3) 地域からの評価

4月に着任してから現在まで、様々な地域の方とお話をする機会があった。

「八日市南高校はとても地域に貢献している。」

「生徒は自然な挨拶をしてくれる。」

「廊下で出会う生徒が、年相応の落ち着きがある。」

等の声を聞かせていただく。また、中学校の関係者からは

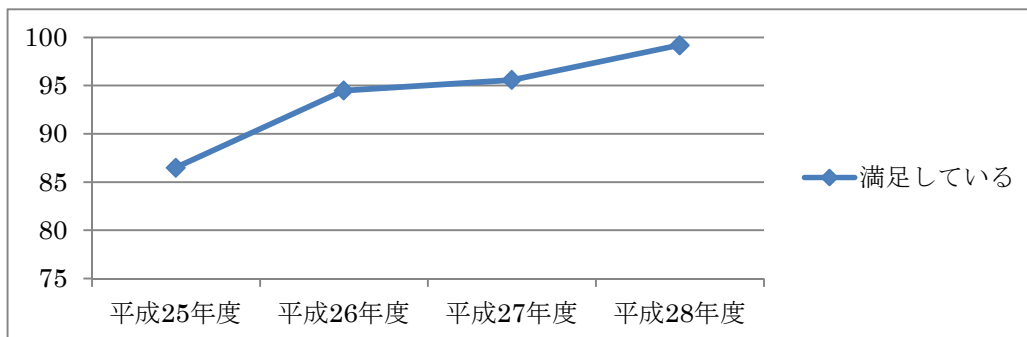
「安心して生徒を送れる学校だ」

と言っている。

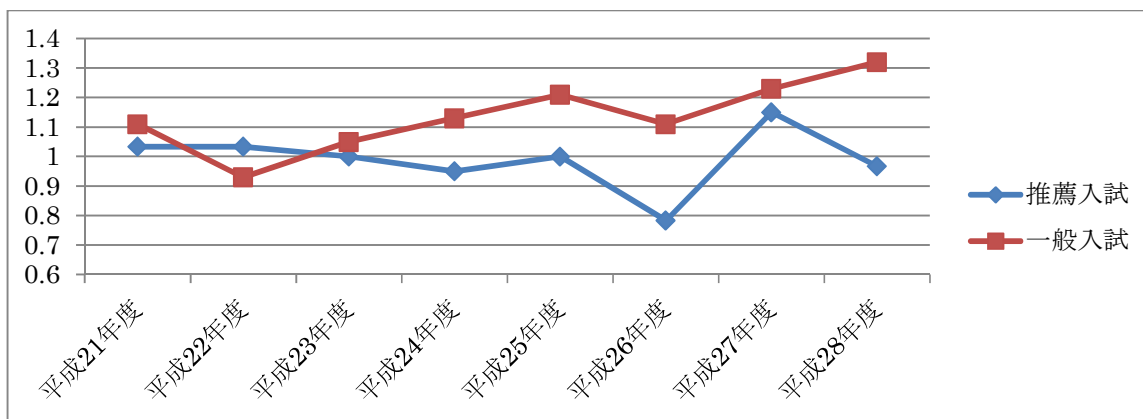
生徒による地域貢献活動や生徒の自尊感情を醸成する指導が定着し、生徒が自信と本校への誇りを持てるようになったことがこのような評価につながっていると考えられる。

(4) 入学後（1年4月）の生徒の意識調査結果

問 あなたは、八日市南高校の生徒であることについてどのように思っていますか。（％）



(5) 入学者選抜倍率の推移



7 今後の課題について

(1) 今年度の本校の改善策

① 生徒の変化への各課学年での対応

入学してくる生徒と保護者が様々な面で劇的に変化している。生徒と保護者の要望も違ったものになってくる。

② 授業改善

生徒が直面する社会では、「何を知っているか」よりも「何ができるか」が大切になる。

生徒による「深い学び」「主体的な学び」「対話的な学び」が大切である。アクティブラーニング型授業へ、授業改善プロジェクトチームを編成し改善していく。

③ 部活動の活性化

強化と活性化を図る。

(2) その他の課題について

① 施設設備の老朽化

施設設備の老朽化が進んでいる。小修繕を繰り返しながら使用しているが、今年度当

初に故障が相次いだ。設置した時期が近いため、故障も同時期に発生する事が予想される。授業に支障が出る前に、計画的な更新が必要である。

② 教員の技術や指導力の伝承

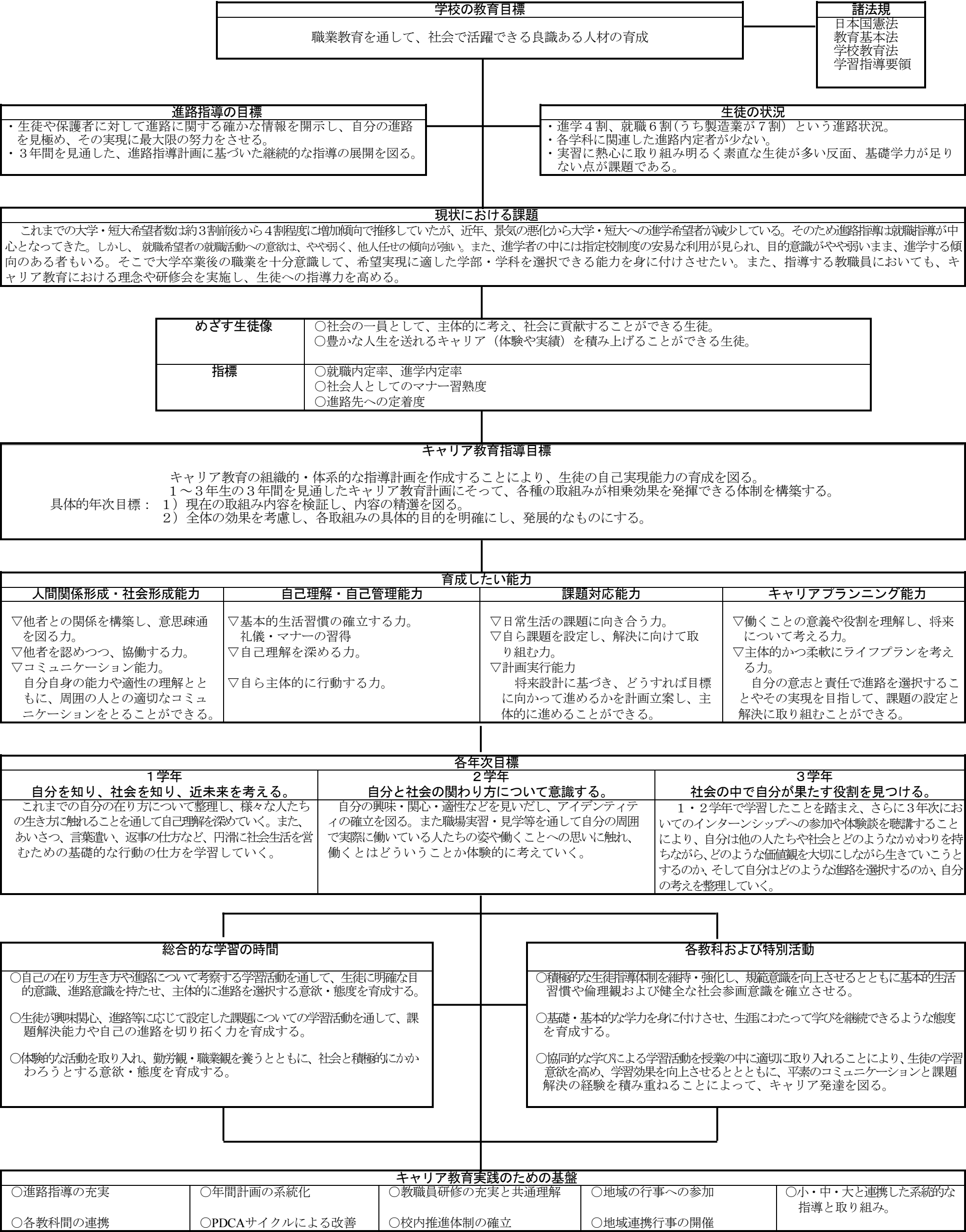
本校では、中堅教員が少なく、ベテラン教員と若手教員が多い。ベテラン教員の農業の専門的な技術や指導力を若手教員に伝承することが喫緊の課題である。

③ 農業関連の企業や大学等への進路開拓

農業関連産業への就職が少ない。農業関連産業の雇用の拡大を望みたい。

また、農業関連の大学等への進学については、希望する生徒に適切な指導の機会を提供する校内システム構築が必要である。

平成 2 8 年度 滋賀県立八日市南高等学校 キャリア教育全体計画

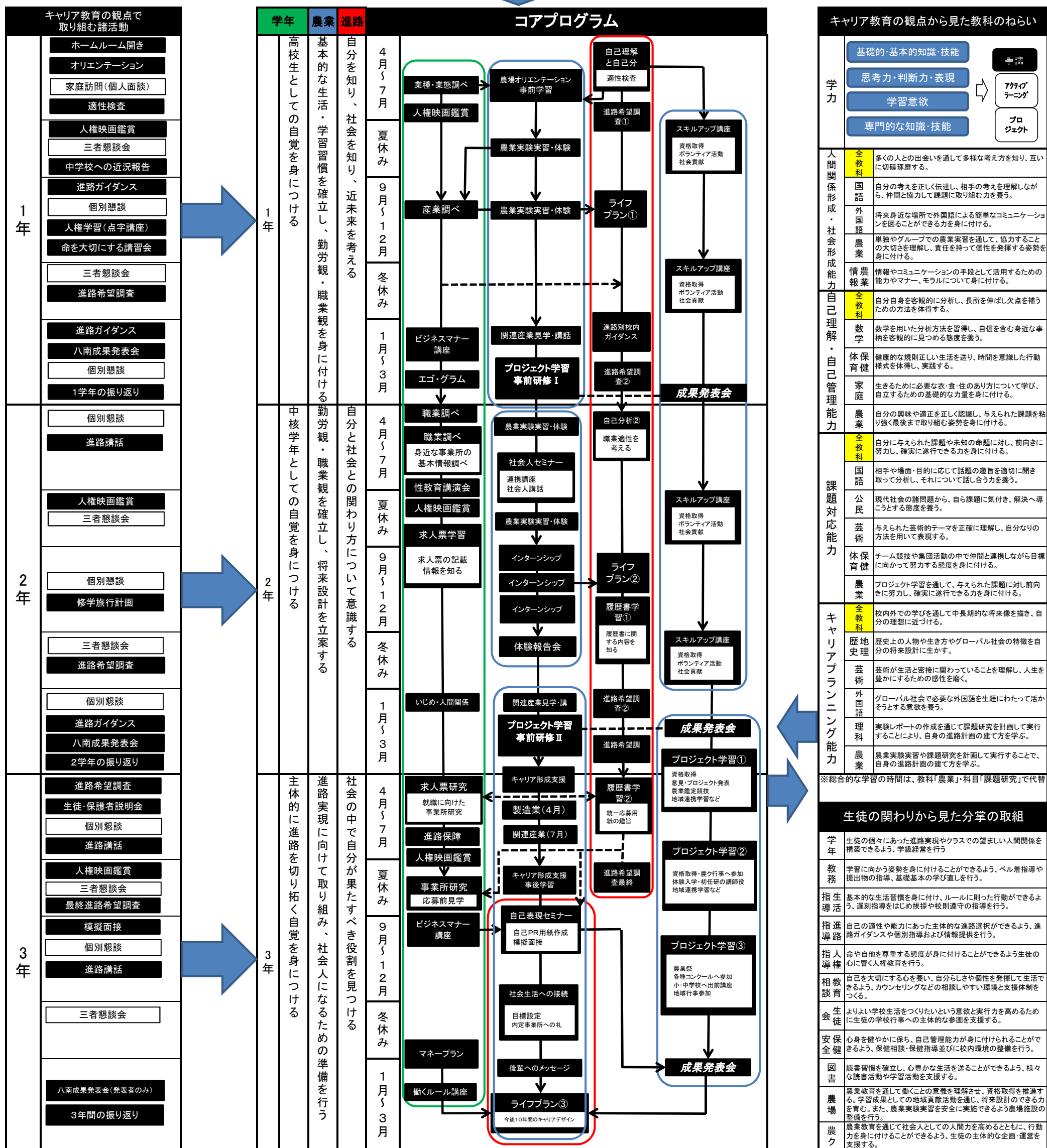


平成28年度 滋賀県立八日市南高等学校【農業】キャリア教育カリキュラム

将来の姿	社会の一員として、主体的に考え、社会に貢献することができる。／豊かな人生を送れるキャリア(体験や実績)を積み上げることができる。	将来の姿
------	--	------

キャリア教育を通して身につけたい力				
学 力	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
○基礎的・基本的な知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○学習意欲 ○専門的な知識・技能	○他社との関係を構築し、意思・疎通を図る力 ○他者を認めつつ、協働する力	○基本的な生活習慣を確立する力 ○自己理解を深める力 ○自ら主体的に行動する力	○日常生活の課題に向き合う力 ○自ら課題を設定し、解決に向けて取り組む力	○働くことの意義や役割を理解し、将来について考える力 ○主体的かつ柔軟にライフプランを考える力

中学校への働きかけ	一日体験入学(年間:4回)・初任者研修(中学教師対象の農業研修)・高校生による出前講座・高校による成果発表会(中学生への情報発信)・校外行事(農林水産・二五八祭)などへの参加
-----------	---



卒業後への接続	・事業所訪問による定着指導・就労支援機関との連携・卒業者状況調査・商工会議所・東近江ロータリークラブ等との連携
---------	---